

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- ▶ 水稻を主要作物としつつ、飼料用米や麦を生産して、地域の農地を維持・保全している中間農業地域
- ▶ 耕作条件の不利性や高齢化に伴い耕作放棄地が増加する可能性

【支援内容・背景】

- ▶ 地区内の農地を維持・保全するためには、高齢となった農業者の農作業などを既存の委託組織に担ってもらう必要があり、そのためには当該組織の強化が必要。
- ▶ 助成対象者は、地区内で飼料用米、麦を中心に経営を行っており、また地域の高齢農業者の支え手として多くの農作業を受託。
このため、地区の農作業の中心的な引き受け者として経営力の強化を支援。



助成対象者「木城荒平営農組合」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- ▶ 平成12年 地区内の農家21戸が集まり経営開始
- ▶ 平成25年 人・農地プラン中心経営体に位置付け

《事業活用の背景》

- 高齢等を理由とし、農業用機械の更新ができない農業者から、助成対象者へ収穫作業の依頼が増加。
- これに対応するため、収穫作業の効率化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

- 経営面積 3.2ha
- 耕作放棄地 解消面積 0ha

《事業による整備内容》

- コンバイン(4条刈り) 1台
事業費 7,689千円
(国費 2,563千円)

【現在の経営状況】
〈R5年度〉

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ○ 経営面積 | 9.0ha (281%) |
| ○ 耕作放棄地
解消面積 | 0.2ha (+0.2ha) |

事業の
効果

《対象者》 収穫作業の効率化が図られたことにより、作業受託面積の拡大が実現。

《地区》 農作業を受託する組織の強化が図られることにより、耕作放棄地の解消や予防を実現。